

## 平成30年度 事業計画

我が国は、長く続いたデフレからの脱却を目指し、経済の再生に向けた施策を推進してきました。その一環として、人口減少や少子高齢化という我が国が抱える構造的な問題の克服に向け、新たに「生産性革命」と「人づくり革命」の取り組みを展開しようとしています。

また、昨年3月に決定された「働き方改革実行計画」においては、労働力人口が減少している中で我が国の成長力を確保していくためにも、意欲のある高齢者がエイジレスに働くための多様な就業機会を提供していくことが必要であると謳われております。この方針を地域において推進するためには、働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要になっております。

シルバー人材センターは、高齢者の多様な就業ニーズに応じた地域社会の日常生活に密着した就業機会を確保・提供し、長年培ってきた豊富な知識と幅広い経験を活かせる社会参加に結びつけることにより、高齢者の居場所と出番をつくり、生涯現役社会の実現に向けた役割を果たしており、併せて、生きがいの充実や地域社会の活性化に貢献しているところです。

しかし、このようにシルバー人材センターに対する期待が増大する中、会員数は7年連続で減少するなど、全国のシルバー人材センターを取巻く環境は厳しい状況が続いております。当センターにおいても会員数は、平成27年度をピークに2か年続けて足踏み状態となっております。また、事業実績は、契約金額及び配分金額ともに平成26年度をピークに3か年続けての前年割れで終えようとしています。

新年度は、地域内で引き続きニーズが見込まれている既成就業職種の後継者の育成と併せ、新たな地域ニーズに応えられ就業機会の獲得にも繋がる多くの人材を確保するなど、両方を見据えた事業展開が必要と考えます。

そのため、国等から示される支援制度に積極的に取り組むとともに、業務の効率化に努めながら将来に渡り持続可能な安定的な運営体制の確立を図る必要があります。

今後、当センターは基本理念の「自主・自立、共働・共助」に基づき会員の親睦と融和を大切に、地域の事業所や市民の皆様からのご支援・ご協力を頂きながら「みんなに親しまれ、信頼されるセンター」を目指し、行政及び関係機関と連携を図り、役職員と会員が情報を共有し、知恵を出し合って事業運営に努めると共に、引き続き、地域社会を担う高齢者の「居場所と出番」の拠点となるよう取り組んで参ります。

そこで、平成30年度は  
次の「5項目」を基本方針として事業運営に取り組みます。

1. 新規会員の確保と就業機会の開拓
2. 安全・適正就業の推進
3. 自主活動の体制整備と効率的な運営
4. 将来に向け、持続が可能となる健全な財政運営
5. 地域への積極的な広報活動の展開

# 事業実施計画

## 1. 新規会員の確保と就業機会の開拓

- 1) 入会説明会のPRと、在籍会員による口コミ勧誘運動を展開する。
- 2) 就業希望と仕事の合致に努め、退会者防止を図る。
- 3) 「独自講習会」を開催し、知識・技能の習得と後継者育成を図る。
- 4) 賛助会員の入会促進により新たな就業機会の開拓を図る。
- 5) 魚沼市が推進する新総合事業の体制整備に向け、連携を図る。

## 2. 安全・適正就業の推進

- 1) 安全就業に関する研修会・講習会を開催する。
- 2) 安全対策委員会は、積極的な活動を展開し指導体制の強化を図る。
- 3) 事故情報やヒヤリハット事例の共有で、安全意識の徹底を図る。
- 4) 受注時に「自主点検チェック表」の活用を徹底する。

## 3. 自主活動の体制整備と効率的な運営

- 1) 職群班の編成促進に向け取組みを強化する。
- 2) 関係機関との情報交換機会を活用し事業の取組みや拡大を図る。
- 3) 県連合会及び近隣センターとの連携・交流で組織力の強化を図る。

## 4. 将来に向け、持続が可能となる健全な財政運営

- 1) 補助金の安定確保を図る。
- 2) 就業開拓による自主財源の確保を図る。
- 3) 業務内容の点検と整理を進め、経費の適正執行を図る。

## 5. 地域への積極的な広報活動の展開

- 1) 市報、地元新聞、パンフレット等によりPRを行う。
- 2) シルバーの日等、一斉奉仕活動を通じて地域に貢献する。
- 3) 地域の祭事等において事業の普及啓発活動を実施する。